

平成 25 年度第 1 回日進市地域公共交通会議 議事録

日 時 平成 25 年 5 月 10 日 (金) 午前 9 時 30 分から
 場 所 日進市役所本庁舎 2 階第 4 会議室
 出 席 者 石川和美 (委員)、小塚秋弘 (委員)、鈴木義尊 (委員)、近藤誠 (委員)、
 岩月ミサヲ (委員)、水野利子 (委員) 竹下啓 (委員)、大竹弘眞 (委員)、
 松本幸正 (会長)、仲龍典 (副会長)、長崎三千男 (委員)、加藤直樹 (委員)、
 小林宏 (代理出席)、西尾和晴 (代理出席)、林由紀夫 (委員)、山内達郎 (委員)、
 古橋昭 (代理出席)、小林正信 (代理出席)、鈴木正敏 (委員)
 欠 席 者 小塚みね子 (委員)、都築基雄 (副会長)、永山明光 (委員)

事 務 局 市民生活部生活安全課
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 あり (2 名)
 報 告 事 項 (1) くるりんばすの利用実態について
 (2) 個別課題の対応について

議 題
 くるりんばすの見直し案の実施
 (1) 北コースのについて
 (2) ルート図・時刻表の一体化について
 (3) 高齢者定期券の期間延長について
 (4) 名鉄バスが導入するバスロケーションシステムについて

そ の 他

発 言 者	内 容
	1 開会
事 務 局	あいさつ (生活安全課長)
会 長	傍聴者が 2 名お見えになりますが許可してよろしいでしょうか。
	(異議なし)
会 長	それでは、入室してください。
	(傍聴者入室)
	2 会長あいさつ
	本年度、新たに委員となられた方に委嘱させていただきます。任期は、前任の委員の残任期間となります。
	3 会長あいさつ
会 長	本年度最初の地域交通会議にお集まりいただき、ありがとうございます。 今日の会議は 9 時半からの開催となっていますが、これは“くるりんばす”で

発 言 者	内 容
会 長	<p>来られる時間にあわせたものとなっています。こうした取り組みが地域公共交通の普及の第一歩となると思います。</p> <p>さて、この会議は、市に要望をあげる会議ではないということです。地域に必要なバス等の交通のあり方を我々で考え、我々で実現するというものです。</p> <p>したがってその結果については我々も責任がある、ということになりますので、自分の問題と捉えてご参加いただければと思います。初めて委員になられた方には、くるりんばすに乗ったことがないという方がありましたら次回の会議までに必ず一度乗っていただきたいと思います。</p> <p>平成 21 年度に大きな再編をしてから大きな変更を行ってきませんでした。しかし、利用者の声を聞く中で、できることから改善を続けてきた結果、昨年度は 50 万人の利用者を数えるに至りました。これは中部運輸局管内の中でもトップクラスの数字であると思います。これも皆様方からご協力を頂き、改善を続けてきた結果だと思えます。引き続き改善を進めていきたいと思えますので今年度もどうぞよろしくお願いいたします。</p>
事 務 局	それでは、会長に議事進行をお渡しします。
会 長	議事録署名者を順番により指名します。今回は加藤委員と小林委員、お願いします。
(報告事項)	<p>(1) くるりんばすの利用実態について</p> <p>(2) 個別課題の対応について</p>
会 長	報告事項の(1)及び(2)を一括して事務局より説明をお願いします。
事 務 局	<p>報告事項の(1) くるりんばすの利用実態について、平成 24 年度の運行結果及び昨年度実施したアンケート調査の概要についてご説明します。</p> <p>利用者数は、平成 8 年度には年間約 1 万 7 千人でありましたが、路線新設、運行本数の増加といった運行内容の拡充や、双方向運行開始、路線バスの廃止に伴う代替バスとして中央線の運行開始等、サービス水準向上を進めてきた結果、年々利用者数は増加してまいりました。そして、昨年度・平成 24 年度に運行開始から初めて年間利用者数が 50 万人を達成いたしました。</p> <p>これには、ICカード乗車券 manaca (マナカ) の導入、にぎわい交流館における高齢者定期券の販売、ポケット版時刻表の配布、民間のコミュニティバス探索サイト・コミたんへの情報収録等、利用者の利便性向上に向けた個別対応策の効果が寄与したものとも考えられます。</p> <p>運行経費につきましては、平成 8 年度には約 1,200 万円であったものが、運行内容の拡充に伴い、平成 24 年度には約 1 億 7,100 万円となっており、約 1 億 3,400 万円(内約 800 万円が補助金)の運行負担金となっています。</p> <p>運行等収入は近年では横ばいとなっており、今後も高齢化率の増加に伴い高齢者定期券利用者・無料対象者の増加などから収入増は見込みにくいものと考えています。収支率は、平成 19 年度以降、20%を超えており、以後、同程度で推移し</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>ています。</p> <p>平成 20 年度から平成 24 年度までの車内収入を比較すると、中央線を含めた全体の車内収入は、中央線が運行開始した平成 21 年度から大きく増加していますが、7 コースだけで比較すると 200～250 万円程度減少しています。</p> <p>年別に見ると、平成 21 年度から平成 23 年度までは増加傾向にありましたが、平成 24 年度で微減となりました。</p> <p>コース別に見ると、東コース、南コース、東南コース、南西コースでは改編前と比べて 1 割以上の大きな減少は見られないものの、その他 3 コースでは改編前より 1 割以上減少しており、特に中コースでは 2 割以上の減収となっています。</p> <p>中央線は、平成 23 年度までは利用の伸びにあわせて収入も増加してきましたが、平成 24 年度で微減したことから、学生の利用以外にも高齢者定期券や無料対象者の方の利用が増加してきたものと考えられます。昨年度 1 年間の利用者数は、507,119 人であり、運賃収入は 37,175,100 円でした。前回 2 月の会議で、平成 24 年度の利用者数は 50 万人程度、運賃収入は 3,667 千円程度であると予想されるとご説明しましたが、実際には予想を上回る利用者数と運賃収入となりました。</p> <p>最後に、平成 24 年度くるりんばす利用者意識調査の結果概要について、前年度と比較しまして、全回答者の総合満足度は増加し、総合不満足度も減少しています。非高齢者（65 歳未満）の総合満足度は減少しているものの、高齢者（65 歳以上）の総合満足度が約 4 ポイント増加しており、全体の総合満足度を押し上げています。</p> <p>一方、総合不満足度は非高齢者、高齢者いずれにおいても減少しており、平成 24 年度の利用者数の増加と連動した結果となっています。</p> <p>新規利用の有無について、くるりんばすの利用開始時期については、平成 21 年度の再編後からの利用者が全体の約 3 割であり、その内、平成 24 年度からの利用者が約 4 割を占めています。</p> <p>すなわち、調査日における利用者の約 13%が平成 24 年からの新規利用という結果となっています。特に、非高齢者の平成 24 年からの新規利用者の割合は約 21%と高く、ICカード乗車券 manaca（マナカ）の導入、ポケット版時刻表の配布やコミたんへの情報収録等の実施による効果がみられたとも考えられます。</p> <p>総合バスマップの作成に向けて、平日と土休日のダイヤが異なることから、現在の時刻表は平日と土休日を別々に記載していますが、「同じにすべき」という意見が全体で約 4 割、特に高齢者は約 5 割を占めています。</p>
事 務 局	<p>続いて（2）個別課題の対応について、平成 25 年 4 月から現在までのくるりんばすに関する取り組みについて報告いたします。まず、ポケット版時刻表ですが、昨年度の本会議でもご紹介をさせていただきましたところ、委員の皆様をはじめ、利用者の方からも「文字が小さい」ということから読み辛いとのこと意見を多数いただきました。</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>そのため、大きさを一回り大きくするとともに、平日と土休日で重複しているダイヤをまとめることでスペースを確保し、文字のサイズを大きくしました。</p> <p>くるりんばす乗り方チラシの作成について、くるりんばすの無料対象者、高齢者定期券の案内に加え、マナカ利用方法、乗り継ぎ券の使い方を周知するためのチラシを作成しました。</p> <p>あわせて、本年度から、老人クラブを対象にバスの乗り方教室開催の募集を行っています。</p>
会 長	昨年度 50 万人を達成したと言うことですが、これには年末試行運行の分は含まれていますか？
事 務 局	含まれています。
会 長	その 2 日間を抜きにしても 50 万人を超えていますか？
事 務 局	はい。
会 長	<p>ポケット版時刻表も以前のもの比べてみると確かに見やすくなっています。決して大きなことではありませんが、利用者目線での改善の積み重ねが 50 万人の利用につながったと思います。</p> <p>乗り方チラシはどこで配っていますか？</p>
事 務 局	市役所 1 階情報公開窓口、にぎわい交流館をはじめ各施設で置いてもらっています。また、各単位老人クラブで開催している高齢者交通安全教室の際に配布することとしています。
会 長	各団体においても、ぜひ積極的に活用していただきたいと思います。
(議 題)	<p>くるりんばすの見直し案の実施</p> <p>(1) 北コースの見直し案について</p> <p>(2) ルート図・時刻表の一体化について</p> <p>(3) 高齢者定期券の期間延長について</p>
会 長	それでは続きまして、議題のくるりんばす見直し案の実施について、(1) 北コースの見直し案について、事務局からご説明をお願いします。
事 務 局	<p>議題について説明いたします。</p> <p>前年度決定した見直し方針の中で、新規バス停の設置については、ダイヤ・ルートについて軽微な修正で済むもので、現行の 8 ルート、11 便の形態に影響を与えない範囲で検討することとしました。</p> <p>また、具体的な検討対象として、東コース：東部福祉会館前（県道名古屋豊田線沿い）、西コース：けやき公園、岩崎台東の中間（はなみずき通り）、北コース：五色園南、五色園東の往路が上げられていました。</p> <p>このうち、東コースにつきましては、平成 26 年 4 月に現在の県道岩作諸輪線の工事が完了するにあわせて現在の道路が使用できなくなるため、ルートの見直しを行う必要があることから、検討はこれとあわせて行うこととしました。</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>また、西コースについては、運行状況について正確な情報がなく、現在遅れが多いこともあり、途中でバス停を追加することの影響が計り得ない、ということで平成26年3月に導入を予定している名鉄バスさんのバスロケーションシステムの導入により詳細な運行データの利用が可能となることから、現段階での検討を見送ることとしました。</p> <p>北コースにつきましては、24年度から名城大学様と共同研究という形でバスロケーションシステムの実証実験を行っており、今回は見直しを行う中で、そちらのデータを活用させていただくことができました。まず、今回の見直しの背景ですが、北コースでは『五色園東』『五色園南』バス停は「復路」（長久手古戦場駅⇒市役所）のみの停車バス停となっており、「往路」（市役所⇒長久手古戦場駅）の利用の際には、少し離れた『五色園』を利用しなくてはなりません。</p> <p>そのため、利用者の皆様からは、平成21年度に現在のルート設定をしたときから、往路も停車してもらいたい、という要望が寄せられていました。</p> <p>両バス停の利用は、乗降調査の結果より、H24年時点で市役所方面へ約9人/日、長久手古戦場駅方面から約7人/日となっており、その利用者数は増加傾向にあります。</p> <p>また、平成21年度のくるりんばす再編以前は「往路」方向のみの運行となっていました。その頃の利用実態をみると、市役所方面から約9人/日、長久手古戦場駅方面へ約9人/日となっており、24年度の「復路」の利用者数と同程度となっています。</p> <p>本案は、乗降調査の結果から、『五色園東』『五色園南』における「往路」方向の潜在需要が伺えることから、その需要への対応に向けた見直しを実施することで利用者の増加を見込むものとなっています。</p> <p>具体的な見直しとしましては、8ページのとおりとなっています。北コースは往復コースとなっておりますが、『五色園東』『五色園南』の間は往路も復路と同じルートを走ることとします。</p> <p>平成21年度の改編時には、それまでのダイヤでは遅延が多く発生するという問題があったことから、遅延の発生を減らすため、遅延を見越して余裕を持ったダイヤ編成を行いました。その結果、北コースでは往復で『五色園東』『五色園南』バス停を利用するダイヤを組むことができず、現在のダイヤとなっていました。</p> <p>この現行ダイヤは、基本的に遅延を前提として前倒ししたダイヤとなっているため、結果として遅延しない場合は、その差が余裕となるダイヤとなっています。これを遅延が発生しないようにダイヤを後ろに送ると交通事情等で遅延が発生した場合、大幅な遅延を生じることになります。</p> <p>今回検証した結果、前倒しダイヤにより生じた遅延は、おおむね長久手古戦場駅～愛知学院大学東及び市民会館～市役所で解消しており、なお、市役所へ平均2</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	～3分早く到着していることがわかりました。今回はこの時間を活用しダイヤの案を作成しています。
会 長	既設のバス停をそのまま利用する案となっていますね。
委 員	ダイヤについては、運行事業者との調整は済んでいますか？また、実施時期は何時ごろを予定していますか。
事 務 局	調整済でございます。実施は、本年の10月1日を予定しています。
委 員	<p>費用的な面については、それほど変化しないため気にしていただく必要はないと考えています。往復利用が基本であるため、これによりご利用につながればと考えています。</p> <p>往路復路で同じバス停を利用する、という点については、行き先で乗り間違いがあるのでは、というご心配かと思いますが、巡回運行の場合は、路線バスにおいてもこうした往路復路で同じバス停を利用しているケースがあります。</p> <p>これは往復で道路の向かい側へ渡る事で事故の危険もありますし、特定の地域でご利用いただく場合は、ご利用の皆さんもわきまえていただいています、特に問題が生じることはないと考えています。</p>
委 員	以前のダイヤを組んだときの経緯ですが、元々はダイヤが厳しい中で「五色園東」「五色園南」のバス停は通過しないルートで考えていました。しかし、地元からの強い要望を受けて、せめて復路だけは、ということで設定したものです。
会 長	リニモとの接続は大丈夫でしょうか。
事 務 局	リニモの時刻表との見合わせを行いましたところ、現在のダイヤでも乗継に時間的余裕がない便もあり、改善される部分もあるため、影響は少ないと考えています。
会 長	この案についてのご承認をいただきたいと思います。賛成の方は挙手をお願いします。
委 員	(異議なし)
会 長	では、この件について、本会議での承認といたします。
会 長	続いて、(2) ルート図・時刻表の一体化について、説明をお願いします。
事 務 局	<p>お手元にお配りしているルート図・時刻表の素案をご覧ください。</p> <p>昨年度の会議においても委員の皆様から多くのご意見をいただきましたルート図・時刻表につきまして、ご意見を反映した形で素案を作成いたしました。</p> <p>ルート図ですが、従来のものはA3サイズですので、それよりも紙のサイズが2倍に大きくなっています。そのため、地図自体も大きくすることができます。</p> <p>これにより、今まで載せられなかった施設情報やくるりんばす以外の公共交通機関の情報を掲載することができます。</p> <p>また、赤池駅以外にも日進駅や市役所周辺の情報も拡大図で掲載してはと考えています。これ以外にも情報として掲載したほうが良いものがありましたら皆様のご意見をいただきたいと思います。</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>続いて、時刻表です。こちらは、基本的には先ほどご紹介したポケット版時刻表と同様で、平日ダイヤと土休日ダイヤの重複している部分を省いて掲載しています。これにより、下の余白の欄を作ることができました。</p> <p>こちらへは、例えば、赤池駅、日進駅、米野木駅の地下鉄及び名鉄の時刻表や古戦場駅のリニモの時刻表を掲載するのに十分なスペースと考えています。</p> <p>お示ししたルート図・時刻表ですが、こちらはあくまで素案でございますので、これを元にして、皆様からのご意見を盛り込んでよりよい形にしていきたいと考えています。</p> <p>しかし、事前に資料をお送りできなかったということもあり、本日この場の議論だけでは急には良いアイデアが浮かばない、ということもございますので、本日突然のお知らせで恐縮ですが、5月21日（火）に市民委員の皆様で構成する生活交通部会において更なるご議論をいただきたいと考えています。もちろん本日この場でご意見をいただけるものについてはよろしく願いいたします。</p>
委 員	市の主要施設や病院、買い物施設を載せて、空いたスペースに広告を取ってはいかがでしょうか。
事 務 局	広告と言う形になるのか、何か条件をつけて、負担をいただくことで商業施設等の名称を載せる事ができるのかどうか、ということについて検討しているところでございます。
委 員	どんな折り方にするかは決められていますでしょうか。
事 務 局	縦3つ×横6つ折りにするか、縦3つ×横4つ折りにするかの2案がございます。
委 員	折り目に文字がかかると読めなくなる、という課題もありますので折り方は利用される方の意見をよく聞いていただくと良いと思います。また、主要施設の番号がやや小さく見難いと思います。
会 長	1部作成するのにいくらかかっていますか？
事 務 局	すぐに数字が出せませんが、現在ルート図と時刻表を別々に作っていますが、それを両方あわせた予算の範囲で作れるように検討しているところです。
会 長	<p>長久手市で作成しているタウンマップにバス路線を書き入れた、ということもあります。皆さんが、持っていて嬉しい地図、時刻表ができると良いと思います。</p> <p>今日の議論に加えて、さらに生活交通部会で議論をお願いしたいと思います。</p>
会 長	それでは続きまして、(3) 高齢者定期券の期間延長について、ご説明をお願いします。
事 務 局	<p>前回の会議において、中部運輸局管内の自治体でのコミュニティバス事業における定期券制度の導入状況の比較を行い、定期券制度の導入割合は40団体中15団体、そのうち複数月定期券を発行している団体は10団体ありました。そのうち、月数に応じて割引額を設定しているのは、主に対キロ運賃制を引いている団体もしくは定期券の月額が高額となっている場合が多いことを確認しました。</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>乗降調査及びアンケートの結果から、くるりんばす利用者の高齢者のうち約半数が定期券利用者であり、高齢者の定期券非利用者は、無料対象者もしくは利用頻度が少なく定期券利用のメリットがない方が大半を占めていることがわかりました。</p> <p>また、定期券の利用者、非利用者に関わらず、半数以上の方が定期券販売バス停を利用しないバス利用を行っていることから、定期券購入のために市役所及び各バス停に来ている方が相当数お見えであることが推測されました。</p> <p>以上の経緯を踏まえまして、前回の会議に引き続き、現在の1か月1,000円の定期券に加えて3か月3,000円の定期券をにぎわい交流館限定で販売する、という案を提示いたします。</p> <p>前回の会議におきましては、当初は本年4月からの実施を想定していました。それを本年10月からの実施と変更したことで実施まで間が空いたこともあり、より慎重な判断をするため前回の会議では承認の議決を見送りましたが、本案につきまして、改めてご議論の上ご承認をお願いいたします。</p>
会 長	<p>前回、皆さんにかなりご議論をいただき、方向としては承認いただいていると思います。ただ、会議としては運輸局の方が欠席だったこともあり、制度的に問題があるかもしれないということで議決を行いませんでした。</p>
委 員	<p>問題はないです。ポケット版の方にも定期のことが記載されていますが10月に再度直されますか。</p>
事 務 局	<p>10月に作り直すことを見越して部数を絞って作成しています。</p>
会 長	<p>制度的には問題ないということで安心かと思います。</p>
委 員	<p>時刻表を直されるということなので、その際には、交通系ICカードが全国相互利用化されましたのでそのことを記載していただきたいと思います。</p>
委 員	<p>ICカードの相互利用のロゴマークがございます。データを提供いたしますので載せていただくのは如何でしょうか。</p>
会 長	<p>前回もありましたが、取扱要領の有効期限の例はどうになりましたでしょうか。</p>
事 務 局	<p>修正もれですので訂正させていただきたいと思います。</p>
会 長	<p>もう少し普遍的な書き方はできないのでしょうか。</p>
委 員	<p>時刻表もその都度変わるのであわせて変更してはどうでしょうか。</p>
委 員	<p>年末年始は運休という表現にしておいて、その具体的な日付は各年で定める、ということにすれば毎回要領を変えなくても良いのではないのでしょうか。</p>
委 員	<p>今この場ではっきりわかりませんが、そもそも記載の必要があるのか、という気もします。</p> <p>できれば、手間がかかる、忘れてしまうという問題もありますので、なるべく一度に済む形が望ましいと思います。</p>
事 務 局	<p>この部分の記述については、調整をさせていただいて次回の会議にご報告させていただきますということでは如何でしょうか。</p>

発 言 者	内 容
会 長	事務的な文言だけですので、有効期限の例については事務局にお任せするということがよろしいでしょうか。
委 員	(異議なし)
会 長	それでは改めまして地域公共交通会議として変更案について承認いただけますでしょうか。
委 員	(異議なし)
会 長	(その他)に入る前に、1点議題を追加させていただきます (4)名鉄バスが導入するバスロケーションシステムについて、事務局より説明をお願いします。
事 務 局	平成26年3月に名鉄バス名古屋営業所管内においてバスロケーションシステムが導入されるにあたりまして、営業所の存在する長久手市の地域公共交通会議において生活交通改善事業計画を策定し、国庫補助を受けることとなっています。 そのためには、計画について営業所管内に所在する自治体の承認を得ることが必要となっておりまして、本来、正式な依頼を得て本会議にお諮りするところなのですが、会議の開催日程の都合上、依頼の案をもってご確認を頂き、具体的な手続きについては事務局預かりとさせていただきたいと思っております。 バスロケーションシステムの詳細に関する説明は、名鉄バス様からお願いしたいと思っております。
委 員	弊社の営業所単位で導入を進めているもので、岡崎営業所を皮切りに春日井地区、津島地区において順次導入されています。お使いになられた方もお見えかと思いますが、バス停に貼られているQRコードを携帯端末で読み込む事で、3つ前までのバス停への到着状況を知ることができる、というものです。 通勤時間帯などお待ちになられている方にとって、まだ来ないのか、既にバスが行ってしまったのかどうか、ということがわかるようになります。 ご自宅のパソコンからも情報を得ることができますので、バス停が近所の方でしたらご自宅で状況を確認して時間に合わせてバスに乗っていただくこともできるようになります。 春日井営業所では、朝の問い合わせのほとんどが「まだバスが来ないのか」という電話だったのですが、それが激減したということもあります。また、現在、バス乗車数の約1割の方の利用がございます。 導入にあたりましては国の補助金をいただくために、その受け皿として長久手市の法定協議会で計画に記載していただく上で名古屋営業所のバスが走っている自治体様の承認が必要ということで、本会議でも扱っていただいた、ということになります。
委 員	名鉄バスの路線バス、くるりんばすもN-バスもそうですが、相互に市域を越えて乗り入れをしている状況にあります。バスロケーションシステムというのは、路線の発着が市域をまたぐ場合に一地域内だけで導入しても効果がありません。

発 言 者	内 容
委 員	<p>路線を持つエリアで一体として導入する事で初めて効果が得られるため、タイミングを合わせて導入していただきたい、ということです。</p> <p>当然個々に導入すれば、システムの構築のために多額の経費がそれぞれにかかってくるということになります。それを一体的に行う事で抑えられる、ということであれば、国としては応援しましょう、ということになります。</p> <p>この会議に諮る意味としては、この地域にバスロケーションシステムが本当に必要なのか、ということについて議論をする必要がある、ということです。</p> <p>先程名鉄バス様からの説明にもありましたが、不満の解消や新規利用者の獲得といったことに繋がると思います。そうしたことで、この地域にバスロケーションシステムが必要である、ということになると思います。</p>
会 長	<p>論点としては2点あると思います。1点目は、日進市にバスロケーションシステムが必要か、2点目は、必要であるとして、長久手市の会議にオブザーバーとして参加してもらいかどうか、ということになると思います。</p>
委 員	<p>要するに、名鉄バス様が実施するバスロケーションシステムの事業にこのタイミングで乗りますか、という話だと思います。</p>
委 員	<p>バス協会としてもこうした利用促進施策には支援を行っています。</p>
委 員	<p>今回長久手市の会議を主体としているのは、あくまで補助金をもらうための計画策定が必要ということで、関係市で合同協議会を構成してもらうことも可能ですが、そのためだけに協議会を立ち上げるよりも、各市で協議会をお持ちなのでそれぞれで協議をしてもらう形をとったということです。</p>
委 員	<p>隣接市町のコミュニティバスとは互いに乗り入れを行っているわけですから、こうした機会に相互の連携があっても良いのではないかと思います。</p>
委 員	<p>計画案の中に市町村負担割合というのがありますが、日進市の負担があるということではよろしいでしょうか。</p>
事 務 局	<p>車載機分約 80 万円の 2/3 の約 56 万円が市負担となります。</p>
委 員	<p>今回のシステムでは、例えば、市民会館などの公共施設でバス停で待っているときに、液晶ディスプレイでバスの到着がわかる、ということはできますか。</p>
会 長	<p>技術的には可能ですが、そのためには機器を用意する必要があります。今回の段階ではそうした計画にはなっていません。今後、そうしたことについても本会議で議論が必要かと思います。</p>
事 務 局	<p>他市では市役所や市民病院などに液晶ディスプレイを備えた機器を導入したというケースもございますが、くるりんばすは同時刻に発着するため乗り替え利用のための案内として、そのような機器は不要という考えです。</p> <p>市民会館などのバス停については、会長がおっしゃられたとおりこれからの議論になると考えています。</p>
会 長	<p>それでは、日進市にバスロケーションシステムを導入することについて、承認してよろしいでしょうか。</p>

発 言 者	内 容
委 員	(異議なし)
会 長	では、この件につきまして、長久手市地域公共交通会議へのオブザーバー参加を事務局へ依頼することとしてよろしいでしょうか。
委 員	(異議なし)
会 長	では事務局から本会議の意向をお伝えください。 先程委員から意見のあったように、連携を深めていただきたいと思います。
(その他)	
委 員	愛知県が実施する、I T S あいち県民フォーラム 2013 が開催されます。 本県では、カーナビやE T C など最先端の情報通信技術により人や車の移動を支援する I T S (=高度道路交通システム) を活用した安全で快適な地域づくりをめざしており、愛知県 I T S 推進協議会を中心に I T S の普及啓発活動や導入促進に向けた各種取組みを行っています。 こうした取組みの一環としまして地域におけるこれからの活用策について具体的な事例をご紹介するために開催するものです。 ご興味のある方はぜひお申込みください。
会 長	以上で終了となります。皆様のご協力に感謝します。
	(閉会 11 時 30 分)